

令和6年度当初予算 概要

令和6年2月
企画調整局

1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	6,220	6,232	▲ 12

※職員給与費を除く

2 主要施策

定住・移住促進事業
北九州市移住支援金事業

【 44百万円 】
【 50百万円 】

北九州市への移住を促進するため、情報発信やホテル滞在費補助に加え、移住と仕事の相談窓口をワンストップ化するなど、移住検討者の利便性向上を図ります。
また、一定の要件を満たす東京圏からの移住者に移住支援金を支給し、18歳未満の子どもがいる場合は、子ども加算を支給するなど、子育て世帯を中心とした移住促進を強化します。

- 移住施策 -

STEP 1

知ってもらおう

つながり
情報発信

ネットワーク
づくり

SNS・HP
発信

STEP 2

始めてもらおう

相談・マッチング

ホテル
滞在費補助

移住相談

UIターン
相談

地元就職

- 雇用 -

STEP 3

定着してもらおう

移住

移住
支援金

住宅補助

住環境

- 住宅 -

- 定住施策 - 都市の総合力向上

子育て

医療・
介護

スポーツ

教育

エンタメ

文化

産業

交通

2 主要施策

◆世界遺産の保全・活用に向けた取組み

新規

世界遺産改修事業

【226百万円】

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である「官営八幡製鐵所関連資産」旧鍛冶工場の耐震等工事に係る費用を補助し、世界遺産の保護・保全を図る

今回着手



【旧本事務所】
平成30年度着手
令和2年度完了



【旧鍛冶工場】
令和6年度着手
令和9年度完了予定



【修繕工場】
令和13年度以降
着手予定

世界遺産集客にぎわい創造事業

【2百万円】

現在も操業している製鉄所構内に立地し、普段は立ち入ることのできない官営八幡製鐵所旧本事務所を見学できるバス見学ツアーを拡充
バスツアーを通じて、シビックプライドの醸成を図るとともに東田地区を中心とした集客につながるにぎわいづくりを行う

◎バス見学ツアー

令和5年度 4回 ⇒ 令和6年度 8回(予定)



世界遺産維持活用保全事業

【24百万円】

旧本事務所の外観が眺望できる施設として整備している「旧本事務所眺望スペース」の管理・運営を行うとともに、世界遺産登録10年となる令和7年に向け、大型展示パネルの更新など見学環境等の充実を図る



旧本事務所



2 主要施策

◆新たなビジョンの推進に向けた取組

新規 新ビジョン推進事業

【15百万円】

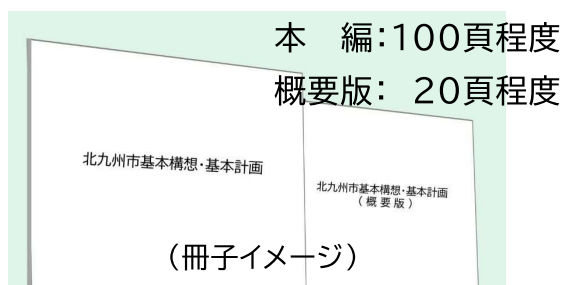
新たなビジョンにおける、3つの重点戦略「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現に向けて、基本計画に掲げる主要政策を着実に取り組んでいくためには、産学官民などの各主体が、新たなビジョンの方向性を共有し、それぞれの役割を果たしながら総合力を発揮して、一丸となって推進する必要がある。

このため、新たなビジョンに関する市民向けの広報を積極的に展開するとともに、様々なデータ分析等のもと、有識者や学識者などによる計画の推進や検証などを行っていく。

①積極的な広報

○ 本編及び概要版の作成

ロゴマークやキャッチコピーなど活用し、市内外にわかりやすく、手に取りやすい新ビジョンの本編及び概要版を作成。



○ 新ビジョンPR動画の作成

市公式YouTubeチャンネルなどで新ビジョンをわかりやすく解説。



○ 市内各所での講演会の開催



《企業や学校等に向けた講演会》

商工会議所や学校などと連携し、市内企業や学生などへの浸透と、市外企業へのPRを図る。



《市民向け講演会》

市民向けにあたっては、既存の出前講演（広報室）も有効活用する。

②検証および推進体制の構築

学識者や各実施主体となる市内の有識者をメンバーとした会議体（10数名程度）を新たに設置し、新ビジョンにおける取組状況の検証や推進に向けた意見交換を実施。

会議での議論にあたり、人口など市の現状や方向性などに関する分析のため、専門家との意見交換やヒアリング、また、データ等の分析も実施。



新ビジョン検討会議の様子

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

- 拡充** ・メガリージョン推進事業 16百万円
メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、福岡市や下関市、連携中枢都市圏とのトップ会談の開催や、自治体間の連携事業の推進・拡大に向けた調査・検討

●稼げる「人」を育む

- 新規** ・シン・ジダイ創造事業(若者のチャレンジ応援) 50百万円
「日本一若者を応援するまち・北九州市」に向け、街の活性化やポテンシャルの開花を体現する若者の発想と創意工夫、チャレンジに基づくプロジェクトの遂行を街ぐるみで支援
- 新規** ・女性の視点を生かした都市課題解決推進事業 5百万円
女性による新たなプラットフォームを形成し、「女性の視点」を生かした都市課題の発見・解決を図るとともに、取組を通じて「次世代の女性リーダー」を育成

●稼げる「産業」をつくる

- ・SDGs未来人材育成事業 18百万円
社会課題解決の担い手(人材・団体など)を育成するため、市民や団体等が社会課題の解決にチャレンジする活動を支援するとともに、企業と学生との交流の場・コーディネート・マッチングなどの場や情報を提供
- ・SDGsリーディング企業創出事業 40百万円
市内企業等の「稼ぐ力」の強化と社会課題解決の同時実現を図るため、ESG投資・脱炭素等の国際的な潮流への対応に意欲的な市内中小企業等に専門的な知見を持つアドバイザー等を派遣して、社会課題に沿った経営課題の特定と、解決に向けた体制整備による「経営戦略の変革」をサポート
- 新規** ・国際都市間連携促進事業 5百万円
産業分野、教育分野などにおける海外の知見や海外の活力を取り込むため、新たな都市間連携の構築を推進

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

- 拡充** ・民間専門人材活用事業 115百万円
外部の知見等を市政に生かすため、国の「地域活性化起業人制度」を活用して、民間企業等の専門人材の受け入れを実施
- 拡充** ・北九州市移住支援金事業 50百万円
国の制度を活用し、東京圏からの移住で一定の要件を満たす場合に最大100万円の移住支援金を支給し、さらに、18歳未満の子ども加算を支給するなど、子育て世帯を中心とした移住促進を強化
- ・定住・移住促進事業 44百万円
北九州市への移住を促進するため、移住検討者へのSNSでの情報発信や、移住相談窓口の設置、ホテル滞在費補助等を実施するとともに、若者の定着や将来的なUターン移住を目指し、地域企業との交流や若者間のネットワークを構築

新規 ・シティプロモーション推進事業 71百万円
北九州市を知ってもらうとともに、イメージのアップデートを図るため、北九州市基本構想における目指す都市像に基づく統一的な広報や、北九州市のポテンシャル、魅力のさらなる発信

・ふるさと寄附金促進事業 1,617百万円
返礼品の提供や寄附募集に関する広報を通じて、全国の方々に北九州市の魅力を知ってもらうことで、北九州市を応援してくれるファン、関係人口の拡大や地場産業の振興を推進

●彩りある「時」をつくる

新規 ・世界遺産改修事業 226百万円
世界遺産の構成資産である旧鍛冶工場は、耐震性の不足や老朽化による腐食が顕著に進んでいるため、耐震補強及び外観整備工事に係る費用を補助し、世界遺産の保護・保全に着手

●彩りある「人」を育む

拡充 ・北九州市立大学への支援 2,399百万円
北九州市の地方創生や国際化、デジタル化に資する大学の実現に向けて、優秀な人材の輩出など、地域の知的基盤の向上等に向けた支援を行うほか、大学施設の老朽化対策等を実施

新規 ・企業版ふるさと納税を活用した私学支援事業 200百万円
多様な教育を提供できるよう、企業版ふるさと納税制度(地方創生応援税制)を活用し、私立学校(小中学校等)での外国語・IT教育など特色のある教育カリキュラムの推進や魅力ある教育環境整備を支援

【問合せ先(全体に関すること)】
企画調整局 総務課
TEL 093-582-2158